

おおい 自然園

モズ

No.145

漢字で「百舌^{もず}」と表記するのは、さまざまな鳥の声をまねするからと言われます。また、秋の「高鳴き」は縄張りを主張するために、雌雄とも鳴くことで知られます。なお、尾羽を回す仕草も本種の特徴です。

モズは枝に止まっていたかと思うと、一気に飛び出して獲物を仕留め、放しません。嘴^{くちばし}を見ると、上側がかぎ形に曲がり、いかにも肉食であることがわかります。

本種は、秋から冬にかけて、獲物を枝などに刺しておく「早贄^{はやにえ}」を行うことでも知られ、昆虫をはじめ、魚、カエル、トカゲなども見かけます。早贄をつくる理由は、貯蔵説、なわばり説、雌へのプレゼント説などいろいろあります。最近、雄は繁殖期前に早贄を食べ尽くすことで歌がうまくなり、繁殖期に雌を引きつけることができるという研究結果が発表されています。



▲枝に止まるモズの雄



▲早贄の例

(いずれも山田地区にて)

おおい自然園園長 一寸木 肇

【おおい自然園 HP】



▲大井町の動植物や虫、石、自然観察会の結果などを掲載しています。

【自然 NOW への投稿】



▲町内の身近な自然情報をお待ちしています。
※撮影は横位置で